

せい わ

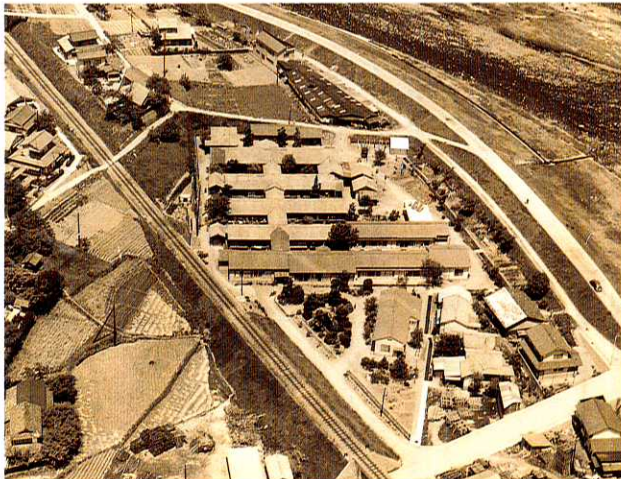
秋心
見上ぐれば
枝もたわわに
柿実り
しばし佇み
うるる日思ふ

5分
見
助

☆発行所☆
府中静和寮
広島県府中市土生町1636番地の1
TEL(0847) 41-2375
FAX(0847) 41-8620
☆発行人☆
寮長 大橋 互

静和の軌跡 ②

昭和二十年代に吹いた風



上空から映した静和寮 当時と今とでは風景が全く違っている

昭和二十年八月十五日、天皇の玉音放送は全国民に何よりも厳しく、重く、苦しい響きであったに違いない。終戦である。静和寮にいた老人もどのような気持ちでその放送に耳を傾けたらうか。その気持ちに覚めやらぬ折の同年九月十七日の枕崎台風による大洪水。

今でもさることながら当時としては、相当なショックであったと思われる。九月一日から毎日のように降り続けた雨が、十七日の枕崎

台風風の集中豪雨で上流の八田原大池の堤防が決壊して、一挙に芦田川へ押し寄せた。当時は今とは違い、芦田川本流の川幅は狭く堤防も低かったためであった。間に周辺の家屋や田畑、人や家畜を暗闇へと押し流した。静和寮も床上三十センチくらいの浸水を受けたが、昭和二十年代に吹いたこの風は激しく頬を突き抜けていったに違いない。

当時の静和寮は府中町の西南に位置しており、芦田川及び福塩線の南側にあっ

て福塩線府中駅からは、徒歩で約二十分を要する地点にある。西南は段々畑の山裾に農家が点在し、他は眼界開けて府中平野が連なり鉄道線路に近いことを除けば、恵まれた環境にあった。

設立当時は収容者数二名であったが、昭和二十五年一月三十一日までの調べによれば、新入寮者数一七六名、退寮者数一一九名(死亡者数八十九名、その他四十九名)となっている。収容原因でみると殆どが老衰病弱孤独が直接の原因ではあるが、これ以外の主な原因を挙げれば次の通りだが正確とは言い難い。戦災六名、引揚六名、身体障害八名、精神薄弱二名、その他十六名(病弱或いは自己の怠慢による者などが大部分を占めている)である。前職については農業八名、女工三名、雑役三名、炭鉱夫二名、仲居二名、無職二名、その他車夫、樽製造、興行師、看護婦、長唄師匠など十七名である。

当時の土地、建物でいえば、敷地九五九坪、総建坪二八八坪四合で本館、玄関、事務室二室、慰安室一室、食堂、浴場、便所二カ所であった。本館には第一棟収容室五(八畳三室、六畳二室)、便所一、洗面所一、第二棟収容室五(八畳二室、六畳三室)、便所一、洗面所一、第三棟収容室五(六畳五室)、便所一、洗面所一、職員住宅二棟、倉庫二棟があった。(つづく)

以上の【第一号被保険者】と四十歳以上六十五歳未満の【第二号被保険者】の二種類がある。被保険者が寝たきりや痴呆になったり、近い時期にその状態になる可能性が見られる人などが介護サービスを受けられるというのが介護保険制度の大まかな仕組みである。ただし、第二号被保険者は国が定めた十五種類の特定疾病を起因とする要介護者に限ることになっている。

更にこの制度を利用しようとする、その入口とも言える「要介護認定」は本人または家族等からの【申請主義】であることを深く認識しておくことが必要である。さて、本年秋からの試行は全国自治体を対象とした本番さながらのモデル事業である。しかし、各地区での調査対象は平成八、九年のモデル事業と同じく一自治体百名の無作為抽出であることは注意書きとしたい。とはいえ、広島県内八十六市町村全部が対象であることからは大変意味深い事業と言える。

要介護認定の本則に触れてみたい。この認定には、「介護認定審査会」と「介護認定調査員」の二つの委員が委嘱される。ただし、審査会委員は調査員を兼任することはできないことになっている。実務については以下のようになっている。

第一段階として国が定めた規定の様式「介護サービス調査票(基本調査、特記事項)」により調査員による訪問調査が実施され、これと同時に進行で「かかりつけ医師意見書」提出が成される。第二段階として調査票のうち基本調査部分を国が作成したコンピュータソフトに入力して【介護度の一次判定】が出力され、これが介護認定審査会の審査資料として提出される。この段階が第三段階である。審査会ではこの仮決定ともいえる介護度資料を資料として、先の調査票の特記事項と別途提出されたかかりつけ医師意見書を参照して【本人の状態像】も加味しながら【二次判定(介護度)】を行う。審議会にはこの段階で一次判定に変更を加える権限が付与されている。ちなみに介護度は六段階とし、段階毎に介護給付限度額が定められている。ただし、給付額と呼称はするがその内容は介護サービス機関による現物給付(介護サービス行為)のみで、現在のところ現金給付は考えられていない。こうして決定された介護度その他介護サービスについて、本人、家族等から【苦情申立】ができる制度が設けられていることを特記しておきたい。

【4面に続く】



次号、静和の軌跡 ③
高度成長期に向けて

介護保険は
申請主義と選択権

公的介護保険制度はあと余すところ約一年で本格的に動こうとしている。その前段階として制度が円滑に推進するようにと、この秋には「要介護認定」というシステムの試行的実施が、全国一斉になされている。この要介護認定の仕組みについて概説してみよう。この制度を利用しようとする、介護保険被保険者であることが求められる。被保険者としては六十五歳

在宅介護支援センターってなんなの?

在宅介護支援センターが開設されて、四年目を迎えました。支援センターの名前を知らない、名前を知っているがどこにあるのか、何をしてくれるのか、といった活動内容が地域に知られていないのが現状です。そこで今回は支援センターの活動内容を事例も含めてご紹介します。

支援センターにはソーシャルワーカー（相談員）、看護婦、ホームヘルパーの三名がおります。活動内容は在宅で介護を行っていく上での悩みや疑問について相談に応じ、色々なサービスの内容説明と情報提供を行い、利用に当たってはサービス実施機関への手続きの代行、福祉用具の選定に当たっては助言や用具紹介などを行い、必要なサービスが受けられるように利用者のお手伝いを無料で行っています。

では、ここで一つの事例を紹介してみよう。

「病院から退院することになり、家で介護をするようになったが、寝たきり状態のため家で何をどうしたら良いのか分からない」と言った相談がよくあります。この様な場合、ソーシャルワーカーが自宅へ訪問し、ご本人の状態や家族の方から話を聞き、おむつやパット類、適切な介護用品の紹介と利用方法の説明、あるいは医療的処置が必要であれば訪問看護への依頼、日

介護者は今

突然にやってくる老化現象が起きると、家庭の生活は一変する。障害者を抱えた日常は普段では考えられないことが起きる。市中を支えるデイサービスセンターや特別養護老人ホームなど他人事と傍観していたのが、一挙に

身近な有り難い存在となってくる。障害者は自分の行ったことを忘れ、あるいは唐突な行動をとる。その対応に追われる毎日であったが、特別養護ホームのお世話になり、又ホームヘルパーの訪問を受けるようになってようやく要介護者との規則的な生活のリズムが戻った。炊事や選択など伴侶者の行った家庭内の仕事一切が介

のお気軽にご連絡下さい。何でも結構です。まずは相談して下さい。

在宅介護支援センター

府中静和寮

☎ 四一六二二二

『みんなで参加できる』を目標にしたクラブです

つばきクラブ

ミュージカル
「ウサギとカメ」



「ウサギとカメ」合唱隊



「お祭りマンボ」
♪ソーレソーレお祭りだーア♪



「バックの色塗り」ガンバレガンバレ!!



「しょうとんど」～人形劇～
(上下町の昔話より)
人形の色塗り 朗読の録音もしました

出口町 杉原 茂

第二回

怒

奥野内科医院 奥野府夫

喜怒哀楽

喜の次は怒です。怒という字を見るのと何となく嫌なことを表わしているような字に見えます。怒はおこる、いかる、いきどおる、腹を立てることで自分の思うようにならない時、人は怒ります。怒るのは人間だけではなく、私の家では小さい犬を飼っているのですが、嫌がることをすると歯をむきだしにして怒りますが、その顔は怖くて醜いものです。自分が怒っている顔を自分自身で見ることはありませんが、きつと醜い顔をしているに違いありません。

ぼつとひとつき
子供等と逢う楽しみや園遊会
久々に友と語りて教えられ
活けてあるザクロの赤き実手にとりて
口にいれば昔懐かし
平岡 正子
廣本 マス

怒りを無関係な人や物に向けると八つ当たりと言いますが、これも端から見ると見苦しいものです。八つ当たりもストレス解消になっているのかなと解釈できなくはありませんが、八つ当たりされた方はたまったものではありません。
ところで怒るのはいつの場合もいけないことかと言いますが不正が行われた時は毅然とした態度で臨み、難しいことですが場交りによっては勇気を持って怒らなければいけないと思います。先日もぶらりと入った店内で小さい子供が二人、大声を出して走り回っています。茶髪、茶髪、茶髪は注意ひとつしようとしません。店の人も大事なお客様の子供ですから黙ってたままです。あまりかねて私は走っている子の前にギュッと脚を出してやりましたら、子供はおとなしくなりました。側面から私の子に「そんなことをするのはオヤジの証拠よ」とひやかされました。
最近では「シラケ」の時代と言われ怒っても何も変わりはないと怒るべき時にきちんとならなくなっており、逆に怒らなくなっている時に怒る(キレル)変な状況になっているのではないかと思います。シラケもキレルも嫌な言葉で日本語からできれば削除したいほどのです。悪いこと、人に迷惑をかけるようなことをしても何も注意されない子供、自分の権利のみ主張する子供が大きくなると、どんな人間になるかと思うと身の毛がよだつようです。少年非行の原点はすべて家庭の「しつけ」にあると、夏の暑い日に「怒」という字を見つめて感じたことでした。次号「哀」について掲載。

論察否賛

映像の世界
百聞は一見にしかず

テレビなるものがこの世に登場して以来、人々の生活習慣が一変したことは言うまでもない。老若男女を問わずして、現在でも見づけていることは本当の意味で「ヒット商品」と言えるだろう。
映像の世界は見る人々の年代や価値観で大きく変わってくる。アニメやテレビドラマ、時代劇といったように個人で見たいものを選び、それを自由に自由に見ることが出来る。
老人ホームでの娯楽の一環として浪曲や時代劇、映画なるものを上映しているが、決まって喜ばれるのが浪曲と時代劇である。《お年寄りだから当たり前》というレッテルがいつの間にか貼られている。しかし、そのお年寄りが若かった頃はどうかだったのだろうか。今の世代でも時代劇を好んでいる人々はいらぬ。逆に「あんなものどこが...」と



言う意見もある。今は嫌いな年をとれば好きになる可能性がないとは言いきれない部分もあるだろう。だからと言ってお年寄り時代劇にはつながらないように思える。
喜怒哀楽の感情を映像という手段を通じて得られる時代、百聞は一見にしかずという言葉がまさにそうである。お年寄りに『なぜ時代劇が好きなのですか』という質問をしたところ『わかりやすくいい』と答えられた。言い替えば複雑な内容のドラマや映画は、拒否してしまうということなのか。
これまでも幾度となく映画を上映してきた。これは感動したから、と言う理由だけの手前勝手な考えであ

私達が在宅 介護支援センターのメンバーです
山下 幸之
山岡 つきみ
看 護 婦 立石 和子
1. A 型 1. B 型 1. A 型
2. ローストビーフ 2. きゅうり 2. ケーキ
3. ミッシェル・ファイファー 3. スマップの中居正広 3. 明石家さんま

ザ・仕事師
映画『もののけ姫』より
る。初めのうちはたくさん集まっていたお年寄りも時間が経つにつれひとつまたひとつと席が空いていく光景がそこにはあった。結局、若者には若者にあつたものを、お年寄りにはお年寄りにあつたものを選択して提供しなければならぬ。
前記した個人の自由はまさにこの事であり、たとえひとりでも見続けてくれるお年寄りがいるのなら、これからも上映していこうと思うのは単なるエゴなのであろうか。

思いのまま

筆者：川上 ユキエ



愛する夫と共に

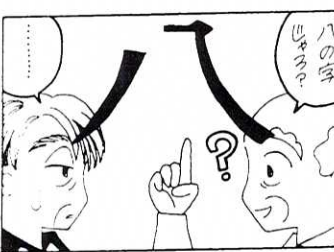
現在の自分を見つめるとい
うゆとりの時間が持てない
程、慌しい世の中になって
います。だから私はそれを
打破する為に毎日、日記を
付けています。

一日一日をその日にあっ
た出来事や感じたことをあ
りのまま書いてみると、何
だか自分らしさが表現出来
ます。生きているのですか
ら嬉しいことや楽しいこと
ばかりではなく、悲しさや
嫌なことにも遭遇します。そ
んな時に感じたことを素直
に思いのままにノートに表
現していくと、不思議と穏
やかな気持ちになります。

私は日記を書くことで、
自分自身を表現して見つけ
ています。私と主人は、
若い頃はケンカをすること
もなく、いたわりあいなが
らの日々でした。金婚式も
今から十四年前に迎えました。
長い月日が経ちました
が増え、髪は白くなりました
が若い頃に足りなかった優
しさや思いやりも少しは増
えた様に思う、今日このこ

ほのぼの日記

あぁ～かんちがい…!



私が静和寮に入寮してか
ら早いもので、今年で十三
年という長い年月を過ごし
ました。

私は今年で八十四才にな
り過去にあった嬉しいこと、
悲しいこと、辛いことは遠
い昔の事と全部忘れ去り、
今日という日がつがつがなく
生きられ、又明日を迎えら
ればこれほど幸せなこと
はないと思います。それも
主人が健康であれば、何も
言うことはありません。

脳梗塞で倒れてからは、
何時も私の脳裏を離れるこ
とはありません。今年で十

六年になります。主人がこ
うなったのも、昔私が大病
を患いその看護疲れのせい
と思ひ、私は出来るだけ力
のある限り一生懸命頑張っ
て見てあげなければと、心
に誓っています。私に与え
られた運命だと思っていま
す。でも、静和寮に入寮
して衣食住に何も不自由な
く過ごさせて頂いています。
色々なことを切り抜けて
きた者には、当時から考
えられない最高の幸福です。
『ありがとう』と手を合わ
せ、戦前戦後の苦しかった
頃を思い出します。反面、

現在の自分を見つめるとい
うゆとりの時間が持てない
程、慌しい世の中になって
います。だから私はそれを
打破する為に毎日、日記を
付けています。

一日一日をその日にあっ
た出来事や感じたことをあ
りのまま書いてみると、何
だか自分らしさが表現出来
ます。生きているのですか
ら嬉しいことや楽しいこと
ばかりではなく、悲しさや
嫌なことにも遭遇します。そ
んな時に感じたことを素直
に思いのままにノートに表
現していくと、不思議と穏
やかな気持ちになります。

私は日記を書くことで、
自分自身を表現して見つけ
ています。私と主人は、
若い頃はケンカをすること
もなく、いたわりあいなが
らの日々でした。金婚式も
今から十四年前に迎えました。
長い月日が経ちました
が増え、髪は白くなりました
が若い頃に足りなかった優
しさや思いやりも少しは増
えた様に思う、今日このこ

ろです。年を重ねていく中
で両親に気を使って自分な
りに一生懸命に生きてきま
した。

今は亡き、母と同じ年ま
で生きて来て今思うことは
母への感謝と悲しさなので
す。迷ったとき、辛いと
きは何時も母のことを思い、
元気づけられます。主人も
私も職員さんには大変ご迷
惑をおかけしています。
これからもよろしくお願
いします。『さようなら』
を言うまで見捨てないでネ
以上

一泊体験学習

おばあちゃん 元気かな?

府中第三中学校 二年 清水 祐規

ぼくはこの福祉体験学習
で静和寮に来るのは二回目
でした。一回目に来た時、
九九才のおばあさんにご飯
をたべさせてあげたのが、

すごく心に残った。だから
二回目の時は、一番はじめ
に会いに行きたかった。
三時二十分からの奉仕活
動が、すごく待ち遠しかっ
た。《元気でいるかな》
と思ったりした。ついに奉
仕活動が始まって、すぐに
九九才のおばあさんに会い
に行った。おばあさんは一
回目に来たときより、少し
体力もなくなったように思
えた。でも、元気で健康
に気をつけてこれからもず
っと長生きしてもらいたい。
そして、周りの人も静和寮
の中でみんなと仲良くして
いてもらいたい。

依頼した場合をもう少し解
説しておこう。介護支援専
門員が本人や家族等からの
依頼、意見等を聴取しなが
ら専門員なりの計画を作成
し、これを保健、医療、
福祉等の関連専門機関と連
携を取りながら、また
「サービス担当者会議(ケ
アカンファレンス)」を開
き検討を行い、計画内容を
煮詰めることになっている。
できればこの会議へ本人
または家族等が参画するこ
とが好ましいとしている。
更に完成したサービス計画
には本人、家族等の承諾を
得ることとされている。
このようにして要介護認
定から介護サービスの決定

ぼくは二回目に来たのは
一回目で知ったことや他の

ことも、もっと知りたかっ
たから二回目も参加しまし
た。学習会のとき、ノー
マイゼーションというの
は何かと聞かれても、初め
は全然わからなかった。
でも、学習会を進めてい
くうちに段々わかってきた。
ノーマイゼーションとは
障害や障害者の存在を特別
視せず、普通視するという
ことがわかった。ぼくは、
障害を持った人を特別に見
ていたから。これからは
車椅子に乗って困っている
人がいたら、気軽に声をか
け、接してあげようと思う。
そして、差別のない世の中
にしようと思う。今回の
福祉体験をきっかけに障害

までが取り運ばれるのだが、
冒頭で断ったように文字通
りの概説となり、読む人に
消化不良の感を強くさせた
ことはお詫びしたい。まだ
まだ知っていただきたい制
度内容があるが、これは順
次にということにさせても
らうとして、まとめとして
一言「この制度が迅速、
的確にして公明正大に運用
されることを願ってやまな
いものである。」
(大橋 互)

編集後記

あることを続けようとする
場合、一回から三回まで
は勢いで続けたいが、四
回目以降は途絶えてしま
うというジレンマがあるら
しい。誠にプレッシャーでは
あるが、逆にやってみよう
じゃねえか、という気持ち
にもならないこともない、
こともない、こともない。
お詫び、 今回の簡単レ
シピは休ませて頂きます。